

MOVE THE WORLD FORWARD

MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP

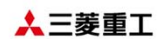


2017年度第1四半期 決算説明資料

2017年7月31日

三菱重工業株式会社

© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.



CFOの小口です。

2017年度第1四半期決算の概要について説明します。

I. 2017年度第1四半期決算実績

・決算実績サマリー	3
・セグメント別内訳	4
・貸借対照表	5
・主要財務指標／キャッシュ・フロー	6

セグメント情報

・受注高・受注残高	7
・売上高	8
・営業利益	9

II. 2017年度業績見通し

・業績見通しサマリー	11
・セグメント別内訳	12

III. 補足資料 14-18

I . 2017年度第1四半期決算実績

第1四半期決算実績 サマリー



(単位: 億円)

	'16-1Q (利益率)	'17-1Q (利益率)	増減 (増減率)
受注高	9,241	6,981	△ 2,260 (△ 24.5%)
売上高	8,472	8,882	+409 (+ 4.8%)
営業利益	(2.9%) 249	(1.8%) 161	△ 87 (△ 35.0%)
経常利益	(△2.0%) △ 166	(2.0%) 181	+347 -
特別損益	△ 73	0	+73 -
親会社株主に帰属する 当期純利益	(△1.4%) △ 121	(0.5%) 44	+165 -
EBITDA	(8.0%) 674	(6.7%) 599	△ 75 (△ 11.2%)

以下の営業外収益を含む
 ・為替差益 64 (+206)
 ・持分法投資利益 12 (+219)
 ※()内は対前年同期比増減

© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

3

サマリーについて説明します。

受注高は、前年同期より2,260億円減少し、6,981億円となりました。前年同期に大型案件の受注があったパワーセグメントが減少したことが主な要因です。

売上高は、前年同期より409億円増加し、8,882億円となりました。

営業利益は前年同期より87億円減少し、161億円でした。当社の事業構造上、例年第1四半期は低調なスタートとなる傾向がありますが、当年度は特に、原子力事業において一時的な減益が生じたこと、またMRJの研究開発費が前年同期比で増加したことなどから、減益となりました。

経常利益は前年同期より347億円増加し、181億円となりました。前年同期に為替差損が生じたのに対し、当年度は逆に為替差益となったこと、また前年同期は三菱自動車工業(2016年度第1四半期まで持分法適用会社)に係わる持分法投資損失を△188億円を計上した一方、当年度は逆に持分法投資利益を計上したことが主な要因です。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期より165億円増加し、44億円となりました。

第1四半期決算実績 セグメント別内訳 (※)



(単位: 億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	'16-1Q	'17-1Q	増減	'16-1Q	'17-1Q	増減	'16-1Q	'17-1Q	増減
パワー	3,766	2,268	△ 1,497	3,000	2,943	△ 56	76	6	△ 69
インダストリー&社会基盤	3,997	3,846	△ 150	3,869	4,340	+471	150	161	+10
航空・防衛・宇宙	1,458	864	△ 594	1,562	1,604	+41	48	19	△ 29
その他	429	319	△ 110	364	316	△ 48	12	12	△ 0
消去または共通	△ 409	△ 317	+92	△ 323	△ 322	+1	△ 39	△ 37	+1
合計	9,241	6,981	△ 2,260	8,472	8,882	+409	249	161	△ 87

(※) 2017年4月1日付で実施した組織再編および事業再配置に伴い、報告セグメントを変更しております。

© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

4

セグメント別の状況について説明します。

パワーセグメントでは、受注高が前年同期より1,497億円減少しています。これは前ページでも説明しましたとおり、前年同期にはコンベンショナル火力で大型の受注案件があった一方、当年度はそれと同規模の案件の受注がなかったことによるものですが、当セグメントにおいては、受注が全般的にやや厳しい状況にあります。売上高はほぼ前年同期並みですが、営業利益は前年同期より69億円減少し、6億円となりました。主な減益要因は原子力事業です。

インダストリー&社会基盤セグメントでは、受注高が前年同期より150億円減少しましたが、全般的には堅調に推移しているものと考えています。一方、売上高は前年同期より471億円増加し4,340億円、また営業利益は前年同期より10億円増加し161億円となりました。

航空・防衛・宇宙セグメントでは、前年同期より594億円減少し、864億円となりました。これは、防衛事業の受注のタイミングによって受注高が大きく増減することによるものです。一方、売上高はほぼ前年同期並みの1,604億円となりました。営業利益では、MRJの研究開発費が前年同期より増加したものの、民間航空機(Tier1事業)のコストダウンが進捗したこともあり、セグメント全体では黒字を維持しました。

第1四半期決算実績 貸借対照表



貸借対照表

(単位:億円)

	'16-1Q末	'16年度末	'17-1Q末	対前年度末 増減
売上債権	10,641	11,801	11,376	△424
たな卸資産	14,133	13,255	13,640	+384
その他流動資産	9,525	10,163	※10,602	+438
固定資産	12,518	11,845	11,724	△120
投資等	6,193	7,753	7,945	+191
資産合計	53,012	54,819	55,289	+470
買入債務	7,723	8,360	7,875	△484
前受金	7,681	7,776	8,004	+227
その他	7,837	8,353	7,842	△511
有利子負債	10,942	9,255	10,426	+1,170
純資産	18,827	21,072	21,140	+67
(うち自己資本)	(15,828)	(17,826)	(17,884)	(+57)
負債・純資産合計	53,012	54,819	55,289	+470

※ 南アフリカプロジェクトに係る資産
3,182億円を含む

短期借入金 +531
コマーシャルペーパー +690
長期借入金 △98 他
・対前年度1Q末比では減少

配当 △201
純利益 +44
その他の包括利益 +215 他
(その他有価証券評価差額金等)

© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

5

バランスシートの状況について説明します。

総資産は、前年同期末より470億円増加し、5兆5,289億円となりました。

棚卸資産は年度後半に向けて積み上がる事業が多いことから、第1四半期は増加する傾向にあります。このことを考慮すると、工事進捗に伴い増加している南アフリカプロジェクトに係る資産を除いては、ほぼ前年同期並みの状況にあるものと認識していますが、バランスシートのさらなる圧縮に向けた努力が必要と考えています。

第1四半期決算実績 主要財務指標／キャッシュ・フロー



主要財務指標

	16-1Q末	'16年度末	'17-1Q末	対前年度末 増減	'17年度 見通し
自己資本比率	29.9%	32.5%	32.3%	△ 0.2pt	－
有利子負債残高 (単位:億円)	10,942	9,255	10,426	+1,170	8,500
D/Eレシオ	0.58	0.44	0.49	+0.05	－

キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	'16-1Q	'17-1Q	増減	'17年度 見通し
営業CF	△ 641	△ 792	△ 151	－
投資CF	△ 612	△ 363	+249	－
フリーCF	△ 1,254	△ 1,156	+97	1,000

© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

6

主要財務指標およびキャッシュフローについて説明します。

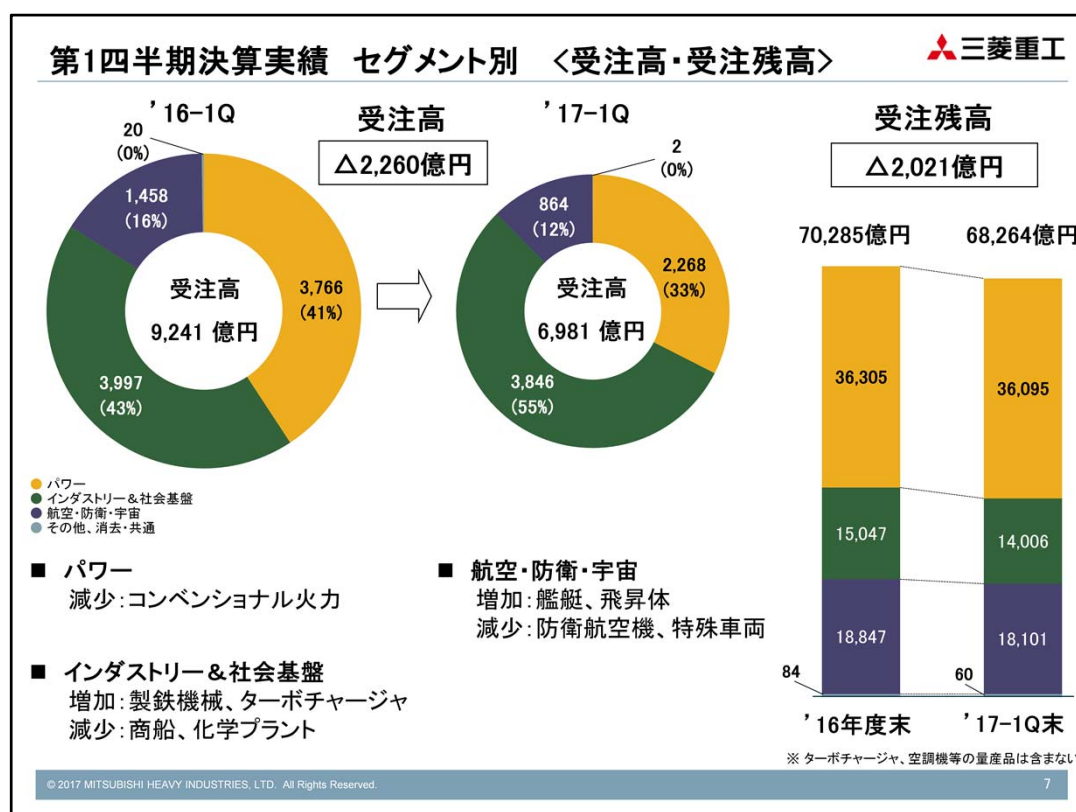
下欄のキャッシュ・フローについて先に説明します。営業キャッシュフローは△792億円、投資キャッシュフローは△363億円で、フリーキャッシュフローは△1,156億円となりました。

当社の事業構造上、例年第1四半期はフリーキャッシュフローがマイナスとなる傾向がありますが、投資がやや減少していることもあり、前年同期比では97億円の改善となっています。

このようなフリーキャッシュフローの状況を受けて、有利子負債は1兆426億円となりました。

自己資本比率はほぼ前年度末並みの32.3%、D/Eレシオは0.49倍となり、いずれも前年同期比では若干改善しています。

2017年度の見通しは、フリーキャッシュフロー1,000億円、有利子負債8,500億円から変更ありません。



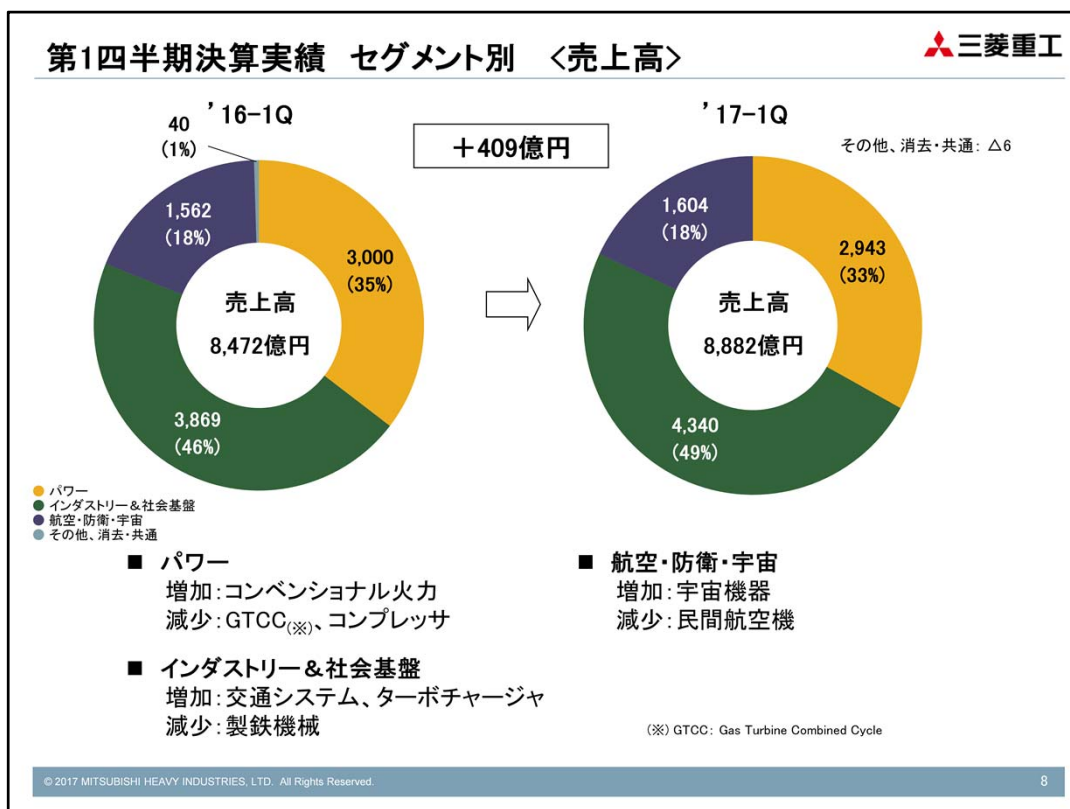
受注高・受注残高、売上高、営業利益のセグメント別内訳について説明します。

受注高が大きく減少していますが、特にオレンジ色で示したパワーセグメントの減少によるところが大きく、コンベンショナル火力の大型プラントを受注した前年同期と大きな差が出ています。

緑色で示したインダストリー&社会基盤セグメントは比較的順調に推移しています。商船の受注はほとんどなかったものの、製鉄機械の受注が底を打ち回復傾向にあることや、ターボチャージャなどの量産品が堅調であることによりそれをカバーし、結果として前年同期に近い水準となりました。

紫色で示した航空・防衛・宇宙セグメントの減少は、防衛・宇宙の受注時期によるところが大きく、年間では大きな問題はないものと考えています。

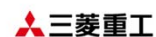
受注が減少した結果、受注残高も減少しています。ただし、この受注残高には量産品を含めていませんので、実際にはインダストリー&社会基盤セグメントに概ね1兆円程度が加算されるイメージです。



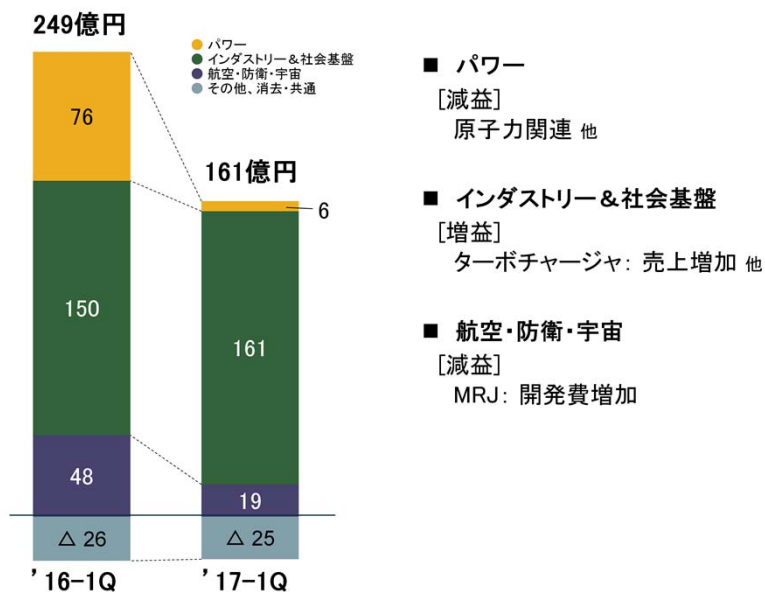
売上高についてはご覧のとおりです。

製鉄機械は受注が回復傾向にありますが、前年度の厳しい受注状況を受け、売上はいまだに減少が続いています。受注の底打ちを受けて売上が回復した後、固定費の圧縮に努めてきた効果が現れてくるものと考えています。

第1四半期決算実績 セグメント別 <営業利益>



△87億円



© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

9

営業利益では、パワーセグメントの減少が目立つ形となっています。原子力事業における減益などによるものですが、これはセグメント全体を年間で見ると大きなインパクトはない上、回復が見込まれていますので、心配はしていません。

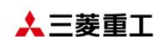
インダストリー&社会基盤セグメントは、ほぼ前年同期並みでした。

航空・防衛・宇宙セグメントでは、MRJの研究開発費の増加が減益要因となっています。ただし、MRJ研究開発費は年間では減少に向かうものと考えており、直前3か月間(前年度第4四半期)との比較では減少しています。

Ⅱ．2017年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
従いまして、この業績見通しの上に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。
実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おください。
実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

2017年度業績見通し サマリー



(単位:億円)

	'16年度実績 (利益率)	'17年度見通し (利益率)	対前年度増減 (増減率)
受 注 高	42,756	45,000	+2,243 (+5.2%)
売 上 高	39,140	41,500	+2,359 (+6.0%)
営業利益	(3.8%) 1,505	(5.5%) 2,300	+794 (+52.8%)
経常利益	(3.2%) 1,242	(5.1%) 2,100	+857 (+69.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	(2.2%) 877	(2.4%) 1,000	+122 (+14.0%)
R O E	5.1%	5.5%	+0.4pt
EBITDA	(8.7%) 3,398	(10.4%) 4,300	+901 (+26.5%)
フリーCF	1,046	1,000	△ 46 (△4.4%)
配当(1株あたり)	12円 (中間6円/期末6円)	12円 ^(※) (中間6円/期末6円)	【未確定外貨】 13億ドル 2億ユーロ 【前提為替レート】 1ドル = 110円 1ユーロ = 120円

前回公表値(2017年5月9日)より変更なし

(※) 当社は、2017年10月1日付で株式併合(10株→1株)を行います。2017年度の期末配当予想は1株当たり60円ですが、本資料上は2016年度実績との比較のため、当該株式併合を考慮しない場合の1株当たり配当金を記載しております。

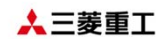
© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

11

2017年度の業績見通しについて説明いたします。

当社の事業構造上、第1四半期は例年、売上、利益とも低調に推移する傾向があります。ここまで説明してきました状況を踏まえても、期首時点での見通しから大きく乖離していないと認識していますので、いずれも前回(2017年5月9日)の見通しを据え置いています。

2017年度業績見通し セグメント別内訳 (※)



(単位: 億円)

	受 注 高			売 上 高			営業利益		
	'16年度 実績	'17年度 見通し	対前年度 増減	'16年度 実績	'17年度 見通し	対前年度 増減	'16年度 実績	'17年度 見通し	対前年度 増減
パワー	17,263	19,500	+2,236	14,484	16,500	+2,015	1,081	1,450	+368
インダストリー& 社会基盤	15,903	19,000	+3,096	17,470	18,500	+1,029	500	850	+349
航空・防衛・宇宙	9,550	6,000	△ 3,550	7,034	6,500	△ 534	9	100	+90
その他	1,604	1,500	△ 104	1,759	1,500	△ 259	107	100	△ 7
消去または共通	△ 1,566	△ 1,000	+566	△ 1,607	△ 1,500	+107	△ 193	△ 200	△ 6
合計	42,756	45,000	+2,243	39,140	41,500	+2,359	1,505	2,300	+794

(※) 2017年4月1日付で実施した組織再編および事業再配置に伴い、報告セグメントを変更しております。

© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

12

セグメント別の内訳についても特に変更しておりません。

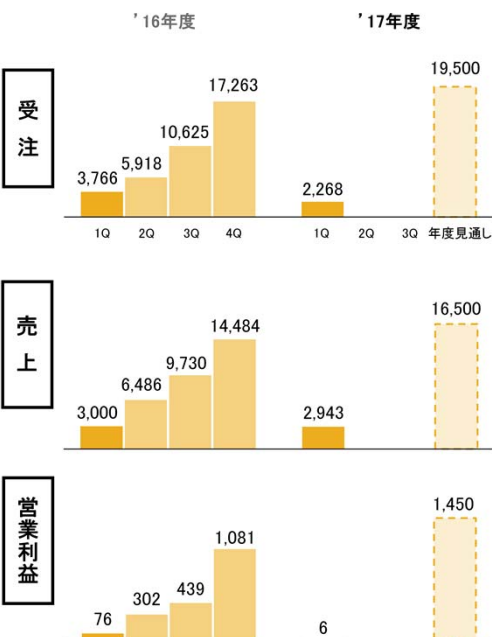
以上で、2017年度第1四半期決算の説明を終わります。

Ⅲ. 補足資料

補足資料① 第1四半期決算実績 <パワー>



(億円・各期の数値は累計)



受注 : 対前年同期△1,497億円の減少
減少…コンベンショナル火力

【ガスタービン受注台数】

'16-1Q : 5台

	北米	アジア	国内	その他	合計
大型	2	1	-	2	5
中小型	-	-	-	-	0
合計	2	1	0	2	5

'17-1Q : 2台

	北米	アジア	国内	その他	合計
大型	-	1	-	1	2
中小型	-	-	-	-	0
合計	0	1	0	1	2

【ガスタービン契約残台数】

	大型	中小型	合計
'16-1Q末	42	32	74
'16年度末	43	14	57
'17-1Q末	43	14	57

売上 : 対前年同期△56億円の減収

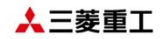
増加…コンベンショナル火力
減少…GTCC^(※)、コンプレッサ

損益 : 対前年同期△69億円の減益

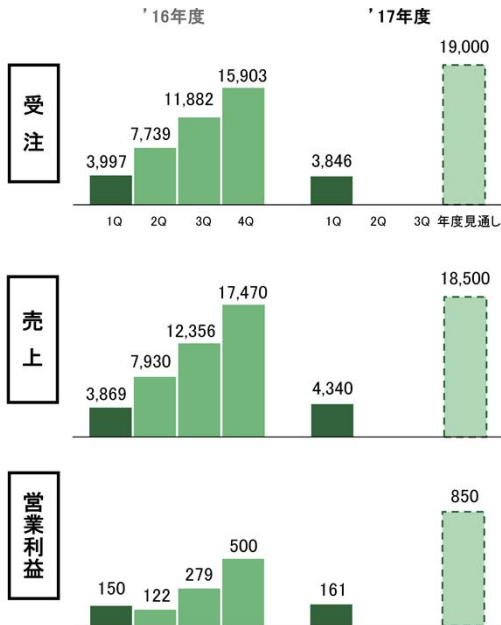
減益…原子力関連 他

(※) GTCC: Gas Turbine Combined Cycle

補足資料① 第1四半期決算実績 <インダストリー & 社会基盤>



(億円・各期の数値は累計)



受注 : 対前年同期△150億円の減少

増加…製鉄機械、ターボチャージャ
減少…商船、化学プラント

【商船 受注隻数】

'16-1Q : 4隻 (1Q:4隻、2Q:2隻、3Q:0隻、4Q:3隻)

'17-1Q : 1隻 (1Q:1隻)

【商船 契約残隻数】 29隻

(LNG船 10隻、LPG船 4隻、RO-RO船 5隻 他)

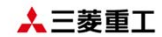
売上 : 対前年同期+471億円の増収

増加…交通システム、ターボチャージャ
減少…製鉄機械

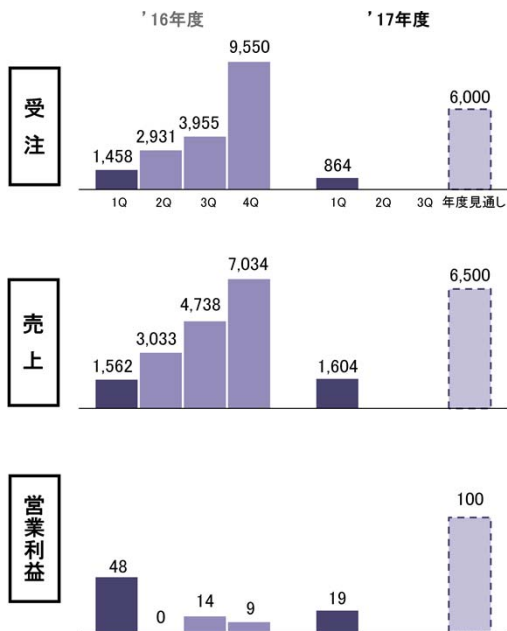
損益 : 対前年同期+10億円の増益

増益…ターボチャージャ: 売上増加 他

補足資料① 第1四半期決算実績 <航空・防衛・宇宙>



(億円・各期の数値は累計)



受注 : 対前年同期△594億円の減少

増加…艦艇、飛昇体

減少…防衛航空機、特殊車両

売上 : 対前年同期+41億円の増収

増加…宇宙機器

減少…民間航空機

【B777 引渡機数】

'16-1Q : 27機 (1Q:27機、2Q:24機、3Q:19機、4Q:21機)

'17-1Q : 17機 (1Q:17機)

【B787 引渡機数】

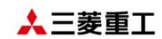
'16-1Q : 36機 (1Q:36機、2Q:31機、3Q:25機、4Q:33機)

'17-1Q : 36機 (1Q:36機)

損益 : 対前年同期△29億円の減益

減益…MRJ: 開発費増加

補足資料② 参考データ



1. 研究開発費、減価償却費、設備投資

	'16-1Q	'17-1Q	(単位: 億円) '17年度 見通し
研究開発費	290	307	1,700
減価償却費	384	397	1,800
設備投資	386	298	2,000

2. 販売費及び一般管理費

	'16-1Q	'17-1Q	(単位: 億円)
販管費	1,418	1,476	

3. 為替レート(売上計上平均レート)

	'16-1Q	'17-1Q
USドル(円/USドル)	110.1	111.9
ユーロ(円/ユーロ)	123.9	122.5

4. 海外地域別売上高

(単位:億円)

	'16-1Q		'17-1Q	
アジア	1,426	(17%)	1,538	(18%)
北米	1,630	(19%)	1,613	(18%)
欧州	1,078	(13%)	858	(10%)
中南米	211	(2%)	388	(4%)
中東	182	(2%)	394	(4%)
アフリカ	264	(3%)	210	(2%)
オセアニア	74	(1%)	70	(1%)
合計	4,868	(57%)	5,073	(57%)

※ ()内は構成比

5. 所在地別セグメント情報

(単位:億円)

		'16-1Q	'17-1Q
日本	売上高	6,398	6,536
	営業利益	194	92
北米	売上高	1,044	1,173
	営業利益	20	14
アジア	売上高	871	955
	営業利益	88	75
欧州	売上高	937	913
	営業利益	△ 46	△ 17
その他	売上高	182	248
	営業利益	△ 7	△ 3
消去または共通	売上高	△ 961	△ 945
	営業利益	-	-
合計	売上高	8,472	8,882
	営業利益	249	161

MOVE THE WORLD FORWARD

**mitsubishi
heavy
industries
group**

© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.